



足立区議会だより

足立区議会事務局 ☎(882)1111 No. 87

- 第4 回定例会
- 58年度各会計決算
- 可決した主な議案
- 区政を問う=代表質問
- 意見書
- 58年度各会計決算に対する各党、各会派の主張
- みなさんからの請願・陳情
- 意見の分れた案件

区内交通網の整備は、都市基盤整備に欠かせない重要課題であり、区議会ではこれまで特別委員会を設け区内交通体系の調査研究、常磐線中長距離電車の北千住駅停車

新線導入運輸大臣に要望

を関係機関に要望する等積極的に取り組んできました。とりわけ常磐線の混雑緩和、西部地域の交通過疎解消は大きな課題であり、常磐方面新線、(仮称)舎人新線の運

輸政策審議会の審議動向には強い関心を寄せてきたところですが、運輸政策審議会の審議も大詰めを迎えたこの時期に關係機関あて、この二路線の計画化、建設の早期実現を

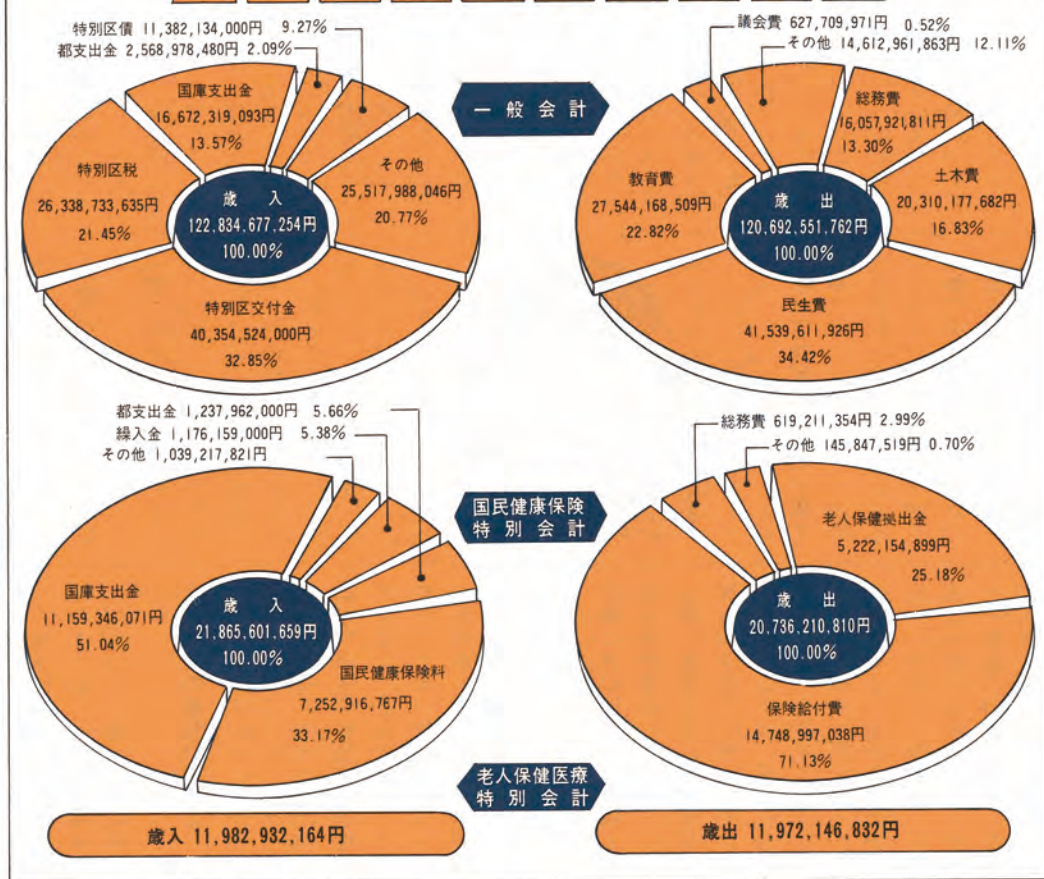
要望することを決定

去る十一月二十九日、足立荒川両区議会議長、特別委員長並びに足立、荒川、台東、千代田の四区長が運輸大臣、運輸政策審議会東京圏都市交通部会小委員長を訪れ、それぞれ要望書を手渡し意向を伝えてきました。

常任委員の一部に変更

十二月二十日付で、総務委員鈴木 進議員が都市環境委員に、都市環境委員浅田良作議員が総務委員に所属変更しました。

昭和58年度各会計決算



定例会

昭和五十八年度各会計決算を認定

第四回足立区議会定例会は、十一月二十六日に開会し、会期二十五日間で十二月二十日に閉会しました。今定例会では、五十八年度各会計歳入歳出決算など二十二件の区長提出議案、議員提出議案四件(意見書)、区民の皆さんからの請願・陳情三十四件を審議しました。区長提出議案はすべて可決、認定しました。また、各党各会派の代表議員十名が質問しました。

各党各派代表十名が質問

議案の審議に先立ち、十一月二十六日、二十七日の両日にわたり、次の各党各会派の代表議員十名が質問しました。

渡辺 穂議員(自由民主党足立区議団)

八田正和議員(公明党)

瀬田富男議員(足立区議会自由民主党)

今井重利議員(共産党)

浜崎健一議員(民主クラブ)

野中栄治議員(社会党)

飯田豊彦議員(公明党)

巻田清治議員(足立区議会自由民主党)

渡辺修次議員(共産党)

忍足和雄議員(公明党)

決算特別委員会を設置

今定例会では、議会は決算特別委員会(委員数二十八名)を設置し、五十八年度一般会計、国民健康保険特別会計及び老人保健医療特別会計の各歳入歳出決算を延べ七日間にわたり審査しました。

また、議会は五十九年度一

般会計補正予算(第二号)ほか十八件の区長提出議案を所管の各常任委員会に審査を付託しました。

各会計決算を認定

本会議最終日(十二月二十日)に、藤木二幸決算特別委員長が委員会審査の内容を議会に報告しました。(各会計決算に対する各党各会派の主張は、四ページに掲載)

議会は委員会審査報告後、五十八年度各会計歳入歳出決算を賛成多数で認定しました。

補正予算などすべて可決

五十九年度一般会計補正予算(第二号)ほか十八件の区長提出議案は最終日に、いずれも委員会審査報告のとおり原案可決となりました。

区民の皆さんから出された請願・陳情三十四件は、四ページのとおり決まりました。

意見書四件を可決

また、最終日には運営委員会委員全員が提案した「保存樹(林)の減税措置に関する意見書」、「固定資産の評価替えに関する意見書」、「国庫補助負担率引き下げ反対に関する意見書」及び総務委員会委員全員が提案した「郵便貯金及び少額貯蓄非課税制度の存続に関する意見書」を全会一致で可決しました。(内容は、三ページに掲載)

可決した主な議案

- 五十八年度一般会計歳入歳出決算
- 五十八年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算
- 五十八年度老人保健医療特別会計歳入歳出決算
- (各会計決算の図解は、上記の通りです)
- 五十九年度一般会計補正予算(第二号)
- 興野ブロックセンター(仮称)建設用地購入費、生活保護扶助費、公害健康被害補償給付費、特別区債利子などを計上するため、歳入歳出それぞれ十七億七千六百四十三万四千円を追加するもの。
- ▼工事請負契約
 - 金額○相手方
 - 水路改修その二工事
 - 一億二百万円
 - 森川建設株式会社
 - 水路改修その二工事
 - 一億一千七百万円
 - 株式会社 竹内工務店
- ▼契約の変更
- 現在施工中の次の請負契約を設計変更が生じたため、契約金額を変更するもの。
 - 関原二丁目・三丁目付近枝線その二工事及び掘削復旧工事
 - 五億二千五百万円↓五億八千二百八十一万円
 - 綾瀬六丁目付近枝線工事及び掘削復旧工事
 - 三億二千万円↓三億六千八百九十四万円
 - 興野二丁目付近枝線その二工事及び掘削復旧工事
 - 二億円↓二億四千万円
 - 西新井栄町二丁目付近枝線工事及び掘削復旧工事
 - 二億八千五百万円↓三億
- 特別区道路線の認定

所在地	延長(m)	幅員(m)
北加平町22番一丁目25番まで	2,811.70	4.00-10.60
新田三丁目地内	179.30	5.49-9.02
佐野二丁目地内	48.29	4.00
- 特別区道路線の廃止
- 区有通路路線の設置

所在地	延長(m)	幅員(m)
綾瀬一丁目25番一丁目23番まで	3,012.90	0.90-8.00
- 特別区道路線の認定

所在地	延長(m)	幅員(m)
中川三丁目地内	52.31	3.73-3.89
中川三丁目地内	73.36	2.33-3.01
保塚町地内	65.22	3.80-4.06
島根一丁目地内	134.25	3.48-4.94

概要

自由民主党

(足立区議団)

区債残高の区政への影響は「問」将来を展望し、積極的な事業推進の為、起債の活用は避けられないが、膨大な区債残高が区政の重点施策である街づくりに影響しないか。

「答」区債残高の増加が、区財政を圧迫することは、国の例を見ても明らかである。

ただ、当区の場合生活基盤の整備が緊急の課題であり、今後もタイミングと緊急性を考慮し、起債を活用し事業を推進する。しかし、公債費比率十パーセントに近づいた時点で財政内容を十分見極め、場合により起債の活用を一時抑制し財政の健全性を維持していく。

姉妹都市提携今後の対応は「問」自治体間の都市提携は国レベルでは成し得ない市民、区民レベルの交流に意義があると考える。○今後の対応はどうか。また、区民の深い理解を得る為の○PRはどうするか。

「答」○来年度発足する「都市提携交流協会」の中で具体的な内容、方向が示されると考えているが、行政の対応が必要とされる部分については積極的に考えていきたい。

○「ルックインあだち」「グ

ラフあだち」による特集を予定しており、今後も広報媒体が中心となるが、区施設に資料、写真の展示コーナー設置の方向で検討したい。

新線導入審議の進捗状況は「問」常務方面新線、舎人新線についての運政審の審議状況は、また、今後新線導入運動をどう展開する考えか。

「答」来年度三月答申を目途に現在審議中と聞いており、当該路線問題は年内に方向が検討されるとそく聞いている。

誘致運動は、答申に向けて現在関連区と準備中であり、今後も関係機関に積極的に働きかける考えである。

世田谷共同火災について「問」当区の現状と対応は「答」世田谷共同溝火災は、高度に発達した情報社会に多くの問題を提起し教訓を残した。そこで、本区における共同溝の現状と対応を問う。

「答」本区は共同溝は国道四号線の環七以南約五・四キロメートルを電々公社、東京電力が利用している。事故が発生した場合、治安を始め、区民の不安と日常生活に与える影響は図り知れない。火災のみならず地震等の対策も含め、国等関係機関に対し安全性の確保を強く要請すると共に、行政機能の応急体制についても考慮して行く必要があると考える。

町会・自治会の助成に十分の配慮を「問」行政機関を補完し、行政執行に絶大な協力をしている町会、自治会の助成には十分配慮されたい。また補助金の見直しには一律抑制ではなく事業の公益性等を適正に把握し実施せよ。

自治活動の推進等の事業に対し補助を行っており、五十八、五十九年度と増額を図ってきた。質問の主旨については、今後十分検討したい。

学校給食の民間委託について「問」都は学校給食の一部民間委託を進めようとしており特別区でも練馬区が中学校の全部、世田谷区が小中学校の一部を給食センター方式により実施している。区教委はこれらはどう評価し、対処しようとしているのか。

「答」現在調理業務の実施方法について、各方面からの意見を踏まえつつ検討を進めている。その中で民間委託を含めて具体的な議論を行っている。この結果をまとめて結論を出したい。

辺地域との総合性、一体性がどのように配慮されているか。「答」土地の高度利用により創出されたオープンスペースの有効利用による住環境の向上。再開発関連道路改良事業の実施により周辺道路の一体的整備を図り、防災、交通機能の向上。周辺商店街に連続する商業施設の配置、公的施設の設置等魅力ある空間を創出し、環境整備を行い、綾瀬地区全体の総合的な生活環境の底上げにつながるよう計画している。

公社施設の多目的利用を「問」条例を改正し、プロスポーツ利用も含め、公社施設を多目的利用に供せないか。「答」公社移管を機に、営利利用者と一般利用者と、どう調整できるか検討しており、公社理事会、評議員会の結論をまつて、条例改正を考えていきたい。

(足立区議会) 災害に強い街づくり目指し当面の具体策は「問」軟弱地盤、木造家屋密集地域等防災上極めて弱い状況にある当区は、災害に強い街づくりが急務とされている。当面の具体的施策を問う。「答」足立区地域防災計画を定め、予防、応急対策、災害復旧計画を定めると共に不燃化対策防災知識の普及と訓練の実施防災組織の育成拡充、防災無線の整備充実、防災貯水槽の設置、消火器の地域配備、防災拠点空地確保等の具体策を講じ万全を期している。

住区施設運営の一元化を図れ「問」現在十九館ある区直営の児童館、老人館、集会所の三点セット施設は、住民の自主管理施設の住区センターと同一機能である。区職員による運営を続けるのは二元行政であり、地域住民の納得出来るよう自主管理住区センターに切り換えるべきと思うがどうか。「答」自主管理住区施設は好評を得ており、管理運営は自主管理方式で一元化する事の基本認識は持っている。ただ、既設施設を切り換えるには多くの問題があるので慎重に検討したい。

狭い道路の拡幅整備に積極的取り組みを「問」当区では、四メートル未満の狭い道路が全体の約二十五パーセント、私道に至っては私道延長の約七〇パーセントにも達している。都内数区では既に取り組みを始めており、中野区では大きな成果を上げています。当区でも積極的に検討されたい。

国際友好史資料室を設置せよ「問」郷土資料館の建設が昭和六十一年三月の完成をめざし、ようやく始まった。大変、喜ばしいことである。この際、足立区と外国との友好の歴史を区民や外国の方にも広く知ってもらうため、今建設中の郷土資料館に「国際友好史資料室」(仮称)を設置したらどうか。「答」郷土資料館には多くの展示計画があり、調整に苦慮している。よって、国際友好史資料室のように特定の室を設けることができないので、企画展示室等を活用し、公開していきたい。

交通難解消に水上バスを「問」当区は交通難は今更言うまでもない。た

るべき課題と思うがどうか。「答」本年度中に細路計画としてまとめ、来年度より一定要件に従い道路指定を行い助成事業を実施すべく準備中。区立美術館建設の可能性は「問」物の豊さのみを求め考えるから、心の豊かさを求める意識が広がりはじめ、当区も文化の香り高い個性的で快適な街を作る文化行政の推進が求められている。区民が特に求めている文化性が更に前進し、区民が誇り得る施設として美術館の実現が待たれるが建設の可能性はどうか。「答」財政面でも運営面でも非常に難しい問題があり現在は、計画中の総合文化センターの中に美術館的要素を持ったアートギャラリーを併設する方向で検討している。

学区域編成のスケジュールと第二常磐線や舎人新線が運政審で認められても、当面の交通難解消にはなり得ない。そこで、河川を利用した水上バスを運航し、交通難解消及び区民の足の確保に役立てたらどうか。「答」昭和六十年から二年度かけ、河川・水路の総合利用計画の策定を検討する予定である。この計画の中で、水上バスの運航問題も検討課題になろうと考える。

中小企業融資制度の抜本的な改革を行え「問」当区は中小企業融資の目標額は、江東五区の中で最低の状況にある。そこで、融資制度の抜本的な改革を行い、区内工商業者の要望に応えるべきと思うがどうか。「答」中小企業融資制度については、本年度から大型店対

討と併せて審議会を設置し、関係者及び学識経験者に審議願ひ、早い時期に実現させたいと考えている。

学校の特色づくりは児童生徒中心に考えよ「問」特色ある学校作りは児童生徒中心に考えるべきであり、児童生徒、親の望む学校の特色により進入学校を選択できる事が真の学校の特色に連なると考える。そこで中学校の学区域を廃止し、進学に当っては子供、親の希望を最大限採り入れるべきと思うがどうか。「答」学校の特色づくり事業は五十七年度以降本年度まで八十四校が終了し成果を上げている。地域の実態を生かし、地域に根ざした教育の特色づくりを考えていきたい。

そこで、もつと区民、PTA、児童、生徒に肥満を理解させ、いかに肥満が健康に害であるかをビデオやフィルムを使って、広くPRせよ。「答」肥満は肉体にも、小学生の心理にも、悪影響があるとされており、これらの点を児童、生徒に一層の指導をするほか、保護者等を通じて区民にも周知させたい。

下水道工事中の区道の責任はどこにあるのか「問」下水道工事に際して、地元との協議や説明が不十分



公明党

国際友好史資料室を設置せよ「問」郷土資料館の建設が昭和六十一年三月の完成をめざし、ようやく始まった。大変、喜ばしいことである。この際、足立区と外国との友好の歴史を区民や外国の方にも広く知ってもらうため、今建設中の郷土資料館に「国際友好史資料室」(仮称)を設置したらどうか。「答」郷土資料館には多くの展示計画があり、調整に苦慮している。よって、国際友好史資料室のように特定の室を設けることができないので、企画展示室等を活用し、公開していきたい。

交通難解消に水上バスを「問」当区は交通難は今更言うまでもない。た

るべき課題と思うがどうか。「答」本年度中に細路計画としてまとめ、来年度より一定要件に従い道路指定を行い助成事業を実施すべく準備中。区立美術館建設の可能性は「問」物の豊さのみを求め考えるから、心の豊かさを求める意識が広がりはじめ、当区も文化の香り高い個性的で快適な街を作る文化行政の推進が求められている。区民が特に求めている文化性が更に前進し、区民が誇り得る施設として美術館の実現が待たれるが建設の可能性はどうか。「答」財政面でも運営面でも非常に難しい問題があり現在は、計画中の総合文化センターの中に美術館的要素を持ったアートギャラリーを併設する方向で検討している。

学区域編成のスケジュールと第二常磐線や舎人新線が運政審で認められても、当面の交通難解消にはなり得ない。そこで、河川を利用した水上バスを運航し、交通難解消及び区民の足の確保に役立てたらどうか。「答」昭和六十年から二年度かけ、河川・水路の総合利用計画の策定を検討する予定である。この計画の中で、水上バスの運航問題も検討課題になろうと考える。

中小企業融資制度の抜本的な改革を行え「問」当区は中小企業融資の目標額は、江東五区の中で最低の状況にある。そこで、融資制度の抜本的な改革を行い、区内工商業者の要望に応えるべきと思うがどうか。「答」中小企業融資制度については、本年度から大型店対

討と併せて審議会を設置し、関係者及び学識経験者に審議願ひ、早い時期に実現させたいと考えている。

学校の特色づくりは児童生徒中心に考えよ「問」特色ある学校作りは児童生徒中心に考えるべきであり、児童生徒、親の望む学校の特色により進入学校を選択できる事が真の学校の特色に連なると考える。そこで中学校の学区域を廃止し、進学に当っては子供、親の希望を最大限採り入れるべきと思うがどうか。「答」学校の特色づくり事業は五十七年度以降本年度まで八十四校が終了し成果を上げている。地域の実態を生かし、地域に根ざした教育の特色づくりを考えていきたい。

そこで、もつと区民、PTA、児童、生徒に肥満を理解させ、いかに肥満が健康に害であるかをビデオやフィルムを使って、広くPRせよ。「答」肥満は肉体にも、小学生の心理にも、悪影響があるとされており、これらの点を児童、生徒に一層の指導をするほか、保護者等を通じて区民にも周知させたい。

下水道工事中の区道の責任はどこにあるのか「問」下水道工事に際して、地元との協議や説明が不十分



見通しは

「問」人口動態の地域格差により学校間に過密、過疎現象が生じ、今後児童生徒の激減が予想されることから更に地域格差が顕著になると予想される。これを踏まえ、区教委では学区域編成の検討に入ったと聞くがそのスケジュールと実現の見通しは。「答」今年度基礎資料の収集を行い、来年度には事務的検

策資金の新設や貸付限度額の引き上げと共に、信用保証料の全額負担など大幅な改善を行った。この結果、融資目標額は前年比四〇パーセント増を達成する見込みである。今後とも融資制度の充実に努めたい。

生業資金の貸付け枠を上げよ「問」昭和五十七年度、五十八年度の生業資金の申し込みと貸付件数をみるとほぼ六十パーセント位の貸付率となっている。これを八十パーセント位まで引き上げるように、貸付け枠を上げよ。「答」制度の趣旨、申込みの状況等を勘案し、検討したい。

肥満の害をPRせよ「問」近年、とくに小中学校の児童、生徒の肥満傾向が強くなっており、潜在的な成人病子備軍が着々とつくられているのではないかと危惧する。

そこで、もつと区民、PTA、児童、生徒に肥満を理解させ、いかに肥満が健康に害であるかをビデオやフィルムを使って、広くPRせよ。「答」肥満は肉体にも、小学生の心理にも、悪影響があるとされており、これらの点を児童、生徒に一層の指導をするほか、保護者等を通じて区民にも周知させたい。

下水道工事中の区道の責任はどこにあるのか「問」下水道工事に際して、地元との協議や説明が不十分



下水道工事中の区道の責任はどこにあるのか



なため、一部の地域ではトランプが起きている。

区道の管理者である土木部は、区民に不当な迷惑を及ぼさないよう常に現場の請負会社を指導すべきである。

路政課と下水道課との連絡はあるのか。また、工事中の区道の責任はどこにあるのか。

【答】道路復旧、現場管理等は密接な連絡を図っている。また、道路上の工事では、占用許可条件により許可された区域内の管理責任、工事責任等はすべて施工機関の責任

意見書

要旨

保存樹(林)の減税措置に関する意見書

近年、宅地開発等により当区は緑は年々減少し、特に樹木は二十三区中最も少ない地域のひとつとなっており、区民の健康と安全を確保する上で、大きな問題となっている。

減少を続ける樹木(林)は、「足立区緑の保護育成条例」で保護しているが、今後さらに、広域的、計画的に保存、拡大を図ることが急務である。次の事項を要望する。

○指定樹木及び樹林に必要な土地の固定資産税を農地並の税率にすること。

であるが、監督責任は区にあると考える。

【問】二〇四年、当区のためは、これをさらに前進させるため、たとえば、民間の病院、診療所の待合室を全面禁煙にするか、喫煙場所を限定するか、喫煙場所を限定するかの対策を医師会等と連携して推進せよ。また、実態を調査せよ。

【答】数年前、医師会で調査したが、あまり好ましい状況ではない。さらに、連携協力をすすめたい。

今後、どのような老人医療対策を実施するのか

【問】今回、高齢者意識調査を実施した結果、「保健医療の充実」には区民の高い要望がある。今後の老人対策として、どの様な施策があるのか。また、老人健康調査の受診率が低い。その向上策を示せ。

【問】本年の実績は四十二%減すること。

【大蔵大臣(一・二項)、都知事(一項)あて】

六十年度は固定資産の評価替えの基準年度にあたり、見直しによる引き上げ幅は、全国平均で二十パーセント程度と言われている。

小規模な居住用土地(事業用土地含む)に対する固定資産税の地価上昇を理由とする引き上げは、担税力の弱い者には過酷であり、重大な社会

共産党

国庫補助削減反対を明確に

【問】政府は、来年度地方向け国庫補助金一割削減を打ち出している。区長は早急に国庫補助削減反対の意志表明を行い、政府並びに関係機関に強力に申し入れよ。

【答】既に全国知事会会長である都知事が知事会あがての反対を表明している。区長会においても事柄の重大性から全国市・町村長会等と一体となって自治体の考えを理解するよう訴えていきたい。

【問】都が運輸政策審議会に新線導入の働きかけを強力に押し進めている。区長は早急に都知事会あがての反対を表明し、地下鉄舎人新線と第二常磐線誘致の要望をした事は、足立区議会が超党派で誘致運動にとり組んできた成果である。区長は審議会答申に問題となることは必至である。

よって、現行制度の在り方の見直しと小規模居住用土地に係る固定資産税及び都市計画税の負担増となる評価替えを今回は見送るよう要請する。

【内閣総理大臣、大蔵大臣、自治大臣、都知事あて】

国は来年度予算の概算要求で、国庫補助負担率を一律に引き下げ、一方的に地方財政にしわ寄せしようとしている。

このような地方への負担転嫁は、財政秩序を乱し、国と地方との信頼関係を根底からくつがえすものである。

盛り込まれるために強力に働きかけよ。

【答】運政審において「東京圏の鉄道網のあり方について」審議中であり、来年三月答申(予定)に向け、関連区と一緒に要望すべく準備中である。

健康診断の無料化と夜間健診を検討できないか

【問】区民健康診断制度はすべて無料とし、PR方法を改善充実すると共に中小零細業者のために夜間健診をすすめてほしい。

【答】自分の健康は自分で守るという老人保健法の基本理念でもあり、無料に戻す考えはない。PRについては、印刷物の配布、広報車の運行も含めて更に工夫し事業効果を高めていきたい。

夜間健診については、今年墨田区がテスト的に実施しているののでその実績をみて検討したい。

自治大臣あて】

郵便貯金及び少額貯蓄非課税制度の存続に関する意見書

今日の非課税貯蓄制度は、国民生活の安定、向上と日本経済の発展に多大な役割を果たしてきた。



区営駐車場の無料化を図れ

【問】区営自転車駐車場は無料化すると共に管理人控室にトイレ、水道、冷暖房設備を設置し、充実せよ。

【答】自転車駐車場を原則として有料化する事は区の基本方針であり、無料制にするための条例、規則の改正は考えていない。

設備改善については、既設駐輪場は立地条件等もありトイレ、水道の設備がないが、今後検討していきたい。

【問】梅島生活実習所は既に定員を満了しており、今後の卒業対策が急務となっている。区長は期限導入による通過施設とせず、増設計画を推進し卒業対策を図れ。

【答】生活実習所を増設する予定はない。しかし、障害者の通過施設としての作業所建設については、養護学校卒業生の動向を見守りながら順次建設を進めている。

【問】臨海施設設計画が茨城県旭村玉田地区を候補地として進められているが、同所は海の安全性、自然条件、土地価格等

種々の問題があるのでとり止め、早急に海水浴を最優先とした基本計画に基づく適地を選定せよ。

【答】臨海施設の早期建設は学校から強い要望があり、自然環境、交通の利便性に優れた適地があったので候補地に選定したものであり、早期に開設し、利用に供したい。

【問】区立図書館の利用時間の延長は、利用者からの強い要望もあり、勤労区民の立場に立つて午後八時迄延長せよ。

【答】現在、中央図書館、千住図書館で夜間開館しており、他の図書館についても、夜間開館の要望があるので、目下実施について、検討中である。

民主クラブ

給食運営の改善策はあるか

【問】給食運営を合理化した豊田市との比較で、当区は平均約二倍の費用を要している。合理化により単純計算年間十六億円の節約になる。

【答】区長は豊田市の例を模倣する気はないか。また何か区独自の改善策を講じる考えが将来的にでもあるか。

【答】給食運営については、各方面から民間委託等も含めて再検討すべきであるとの意見も出されており、これらの点を踏まえ、現在調理業務の実施方法、運営等、民間委託を含め検討中であり、検討結果をまとめて対処していきたい。

【問】住区センター七十館構想の下に現在三十九館が建設されている。行政サービスの公正化を維持するとして、あと十館程度で十分目標達成が出来るか。また修正する考えはないか。

として、どの程度減らせるか。

【答】現在、基本計画を見直す中で検討しているが、目標数については減少の方向で検討しなければならぬのではないかと考えている。検討に入ったばかりで、具体的な数字は出せない。

千住地区の活性化対策は

【問】駅前活性化は具体的だが、全体の活性化を図るため次のことをどう考えるか。

○工場跡地は市街地整備促進に活用すべきと思うが。

○若年人口呼び戻しのため、中高層住宅建設の考えは。

【答】○地区環境整備計画を六十一年度までに定め地域特性を生かした計画として跡地活用を誘導する方針である。

○質の高い集合住宅の建設については、住環境モデル事業、再開発事業等の手法を誘導し周辺環境の整備を行いつつ活性化を図っていきたい。

社会党

国庫補助削減の影響を問う

【問】国庫補助削減が大蔵省原案通り実施された場合の当区への影響及び概算額。またこれが財調で補てんされた場合他の施策に影響はないか。

【答】福祉施策対象の多い当区の影響は甚大であり五十八年度決算で扶助関連国庫補助金は生活保護費を含め

百四十五億で単純計算十五億円相当が負担となり容認できるものではない。また、削減分の一部を財調で補てんするとなれば、既定事業、新規事業の大幅な抑制にならざるを得ないと考えている。

【問】現在、私道に下水道を敷設する場合、二十五パーセント利用者負担になっているが、被生保世帯に限り、区が負担すべきと考えるが、区長の所見を伺いたい。

【答】下水道整備に係る生保世帯に対する助成は、○都制度で水洗化工事に対し一九一〇〇〇円以内の特別助成、○区制度で水洗化資金融資の利子全額補助を実施している。

私道排水設備助成は、共同排水設備工事助成である。昨年度助成対象の緩和を実施したところであり、生保世帯のみ全額助成は困難である。

【問】早期着工のため、隅田川架橋を区単事業で施工すべきと思うがどうか。

【答】建設局、北区、足立区の三者協議を重ねて、北区の取付け道路確保を条件に基本的に建設局架橋で意見の一致をみているものであり、区単独の架橋は考えていない。

今後とも北区に一層の努力を求め、働きかけをしていきたい。



昭和58年度各会計決算に対する各党、各会派の主張(要旨)

自由民主党

(足立区議団 認定)

行政効率化への積極的な取り組みを評価

事務事業の見直し、職員定数の削減、民間や公社への事業の委託など行政の効率化に取り組み中で、花畑公園、見沼代親水公園、都市農業公園などを完成させたことは、注目すべきことである。

反面、本決算の中で起債残高は急激に膨張しており、基本計画の見直しを図ることにしてもこのままの推移では一抹の不安がある。

(足立区議会 認定)

今後とも納税者である区民の立場にたつて、健全財政を堅持されるよう特に期待する。



審査中の決算特別委員会

なお、次の点を要望する。

- 行革を積極的に推進し、義務的経費の節減、行政サービスの公平に最善の努力を払え。
- 青少年の非行化防止には独自の方策を講じ、思い切った施策をたてよ。
- 六十一年度目標の都区制度改革が進められる中、今後の起債運用には慎重に対応せよ。
- 江北橋上流、荒川河川敷は野鳥の保護区域には適さないもので、少年野球場をつくれ。
- 町会、自治会に対する撤布薬剤配布の見直し及び実施方法を再検討せよ。
- 都計路九十一号線の早期実現、補助二五八号線の早期完成に最大の努力を払え。

予算編成通りの執行を把握し、今後の行政運営を

五十八年度予算編成にあたり、区長は「納税者が社会の秩序と連帯の中で、十分納得できる行政が推し進められるべきであり、更に社会情勢の変化に対応する問題意識とそれを解決する能力が行政に課せられた責任である」と述べている。その通り執行でき

たかどうか、これらを十分把握した上で、執行機関の責任者として今後の行政運営にあたることを切に希望する。

なお、次の点を要望する。

- 特別区税では、収入未済の減少に充分留意し、悪質な滞納者には厳しく対処せよ。
- 保育園保護者負担金は収入未済にならぬよう、徴収には特に努力せよ。
- 行政サービスの範囲の明確化と納税者の立場に立った社会的公平性の確保に努めよ。
- 狭あい道路の拡幅整備事業及び緑化の一元化を図れ。
- 投票率アップのため、校庭の駐車スペース確保に努めよ。
- 街づくり、再開発には全庁をあげ積極果敢に取り組み。
- 防災対策には民間貯水槽の有効活用を図り、危険地域内や避難路沿いに、小型貯水槽を設置せよ。

公明党 認定

社会変化に対応した施策の展開を評価

厳しい財政事情の下で、その財源を確保し、租税負担の重みを感じている納税者の立場にも配慮しつつ、社会変化

に対応した施策を展開してきた区長の姿勢を評価する。

反面、特別区債の増加を招き来しているため、今後さらに慎重かつ合理的な財政運営を求めらる。

なお、次の点を要望する。

- 決算審議を重視し、区民への周知に配慮せよ。
- 国庫支出金削減の影響を区民生活へ及ぼさぬよう最大限の努力をせよ。
- 電算機の高度利用、ニューメディアによる行政情報システム等により事務事業の見直しに努め、職員定数の管理、抑制に努めよ。
- 国民年金加入及び保険料未納者増大防止対策を進めよ。
- 二歳未満児保育の希望増大への対応と保育園の再配置に努めよ。
- 奨学金制度は、国・都の育英資金以上に内容を充実せよ。
- 医師会との連携を密にし、医療に関する情報提供システムを作成し、区民へのきめ細かな健康教育をせよ。
- 教育の暴力増加に対し、研修等前向きに取り組め。

共産党 反対

都市経営論を行政の基本とし、区民に犠牲を

区長は国・都の財政が厳しいから痛みをわかち合うとして、区の超過負担や事務事業の財調算入を容認し、さらに一般会計から老人保健特別会計へ繰り入れを行った結果、財政が圧迫された。また、一方では公平の原則、受益者負担の適正化、民間活力の導入

という都市経営論を行政の基本とし、区民に犠牲を押しつけてきた。

個々の問題を指摘する。

○福祉を充実すると言いつながら、寝たきり老人の巡回入浴事業における申請時の診断料に所得制限を導入し、更に日常用具の給付を制限し対象者へのPRの努力を怠っている。

○区内の倒産件数が最悪であったのに、中小企業の資金融資対策が迅速に対処できないシステムになっている。

○北千住西口再開発は良好な環境を築き、居住者の営業、生活を守っていくという目的に反し、商業大資本導入を区がバックアップしている。

○児童保育室保護者負担金を三・三倍に大幅増額したこと、行政責任の放棄である。

○一般検診は当区だけが有料で、成人病検診も検査項目を国基準に絞るなど、区民の健康に極めて冷淡である。

民主クラブ 認定

依存財源の確保、民間委託の推進を高く評価

赤字国債額が国家予算の二倍を越える状況下で、やがては補助金、起債の大幅削減が予想されるなか、財調交付金の確保に努力すると共に、都市農業公園等の大型事業にも補助金を取り込む一方、行政経費の節減に努め、民間委託を推進したことを高く評価する。

なお、次の点を要望する。

- 職員の仕事規律を厳正にし、特にストライキ参加者には厳罰をもって処分せよ。
- 入札制度を改善し、談合の未然防止と土木工事の設計変更がないよう事前の調査を十分に行え。
- 職員の昇任試験はペーパー

テスト中心でなく、実績主義を導入し、区民の信頼にこたえるよう登用に努力せよ。

○軽自動車税の収入未済には、特段の改善策を図れ。

○選挙の投票率アップのため家庭を駐車場として開放せよ。

○自動車置場有料化による駅前の混雑解消を更に推進せよ。

財政の健全運営を求め、地財法に則り正確に執行

本決算は困難な社会状況の中で、地方財政法にのっとり、適正に執行され、一般会計で

維持

○ホテル建設に関する陳情

○不採択にしたもの

○常東出張所存続

○第五出張所存続

みなみこやまの請願陳情

採択したもの

○少額貯蓄非課税制度の現行維持

○ホテル建設に関する陳情

○不採択にしたもの

○常東出張所存続

○第五出張所存続

○第十一出張所存続並びに管轄区域変更

○「児童扶養手等法改正案」の撤回

○児童扶養手当制度改悪反対

○母子家庭に育つ児童の健全な成長の保障

○継続審査にしたもの

○人事院勧告の完全実施

○千住旭町一番地内のホテル建設反対

○公害健康被害補償制度の指定地域解除

○住民の健康と医療

○「臨海施設」建設

○租税教育の推進

○国際興業バス路線停留所新設

○区立ふれあい動物園の設置

○ふれあい子供動物広場設置

また、我党の要求したもののうち、自治権拡充、財政権確立、超過負担の解消に努力すると共に、清潔な区政執行に徹し、諸施策においても高齢者事業団の拡充、中小企業対策、高額療養資金、生業資金の充実等々充実されてきたことを高く評価する。加えて、これまで議会側が要望してきた区民のための街づくり

約二十億円の實質赤字という健全財政を確保し、この結果翌年度以降へ弾力的な財政運営の余地を残したものと考える。

なお、次の点を要望する。

- 今後の区政執行には、憲法精神ののっとり、住民本位の行政を推進せよ。
- 清掃事業の区移管は、今後とも慎重に検討せよ。
- 同和対策の復活を図ると共に、福祉施策の充実、ラポホテルの規制強化に努めよ。
- 使用料、手数料の値上げ抑制に努めよ。

助役、収入役の選任に同意

十月三十一日付で助役の梅山純二氏が退任しました。このため、十二月二十日の最終日に区長は後任に池田賢次氏(収入役)、収入役の後任に山下孝生氏(福祉部長)の選

任同意を議会に求め、議会は全会一致でこれに同意しました。両氏は十二月二十一日付で就任しました。

意見の分れた案件

件名	会派名					結果
	自由民主党 足立区議団	足立区議会 自由民主党	公明党	共産党	民主クラブ	
58年度一般会計歳入歳出決算、国民健康保険特別会計歳入歳出決算、老人保健医療特別会計歳入歳出決算	○	○	○	×	○	認定
綾瀬一丁目地区市街地再開発事業による公的施設の増床取得、国民健康保険条例の一部改正	○	○	○	×	○	原案可決

(注) ○ 賛成 × 反対

議会短信

(住所変更)
友利春久議員
(新) 舎人五七七一三
TEL(八五三)七四〇六
(旧) 北加平町十三一八
三宅政一

新年度予算を審議する定例会は三月に開きます。